

HEARTFUL NEWS vol.61

『商魂たくましい日本人～雨降って地固まる～』

こんにちは！ハートフルクリエーションです。

4月末、デザイナーの桂由美さんが逝去されました。東京オリンピックが開催された1964年、日本初のブライダル専門店を赤坂にオープンさせ、日本にウェディングドレス文化を広めたパイオニアです。

以前ハートフルでは、ブライダルフェアでの接客業務を請け負っておりました。そこでは桂先生がデザインされたドレスが花形として注目を集め、業務に赴いていた我々女性スタッフもまた、見惚れてしまい心がときめいたものです。

さて6月に入りました。6月といえばジュンブライドです。

「6月の結婚式」、「6月の花嫁」と和訳されるジュンブライドには「6月に結婚式を挙げる花嫁は幸せになれる」との言い伝えがあります。その由来として、

1.古代から伝わる神話

結婚・家庭・女性・子供を司る一人の神がいて、その神が守りの当番となっていた月が6月であったこと

2.ヨーロッパの気候風土

ヨーロッパの6月は雨が少なく、花々が咲き誇りお祝いにぴったりの季節

この2つが代表的なものとしてされています。

また、ジュンブライドが日本で広まったのは、気候が不安定な6月にも結婚式を挙げてほしいと考えたホテル業界・ブライダル業界の働きかけだったと言われています。エアコン等の空調設備が発達し快適な室内空間で式を挙げられるようになったことも、広く浸透した要因だったようです。桂先生のお店のオープンと時を同じくした1960年代後半ということですから、その当時一気に洋風のウェディング文化が日本に広まったんだろうと、うかがい知ることができます。

さて、ここで皆さんに質問です。

雨の日の結婚式で鉄板のスピーチネタといえば？

そうです！「雨降って、地固まる」です。

雨が降った後の方が、地面が固まりしっかりと地盤ができる。悪いことが起こったあとはかえって基盤がしっかりとよい状態になることを、これからの夫婦生活に重ねて引用されます。

不利だと思える状況でもそれを肯定的に受け止め、むしろラッキーと捉える究極のポジティブさ。日本におけるジュンブ

ライドは、総じて如何なる状況にもめげずに逞しくあれと我々に訴えてくる気迫さえ感じます。
日々の生活において、マイナスと覚めることがあっても「雨降って地固まる」を胸に、頑張っていきましょう！

参考：

ギフトコンシェルジュ『憧れの「ジューンブライド」とは 意味や由来を知っておこう』

<https://www.ringbell.co.jp/giftconciierge/6063>

2024年6月13日



過去配信のアーカイブはコチラでご覧いただけます！！

<http://heartfulcreation.jp/news/721/>

HEARTFUL NEWS に関するお問い合わせ

ニュース配信チーム：03-5847-1199

※こちらのメールは弊社社員・スタッフがご挨拶させていただいた方へお送りしております

